

イオネル[®]新工場設立に関する立地協定を締結

株式会社日本触媒（本社：大阪市中区、代表取締役社長：野田和宏、以下「日本触媒」）は、2025 年 4 月 7 日、北九州市役所にて、LiFSI（リチウムビス（フルオロスルホニル）イミド、製品名：イオネル[®]）新工場設立に関する立地協定を北九州市と締結いたしました。



当社が注力しているソリューションズ事業の中でも、リチウムイオン電池用電解質イオネル[®]は、EV 向け電池の長寿命化、充電時間の短縮、低温環境下の出力向上など高性能化に寄与し、自動車の電動化が急速に進みつつある現代社会において需要拡大が期待されている素材です。

日本国内においても蓄電池のサプライチェーン強靱化を目的として、蓄電池の関連部素材の生産基盤の整備が進んでおり、地産地消の事業戦略のもと、当社もイオネル[®]の安定的な供給責任を果たすべく福岡県北九州市に新工場を設立することを決定いたしました。

北九州市は物流、ユーティリティ設備の利便性が良い点に加え、災害リスクが低く、自動車・環境関連産業が集積しており、電池材料の事業環境として最適と判断しました。

イオネル[®]の供給体制の強化を通して、2050 年カーボンニュートラルの達成と持続可能な社会の構築に貢献してまいります。

■ 日本触媒北九州工場の概要

場所	福岡県北九州市若松区響灘地区
敷地面積	約 65,000m ²
従業員数	約 50 名
投資総額	約 375 億円

生産規模	イオネル® 3,000 トン/年
建設開始予定	2026 年 1 月
商業運転開始予定	2028 年 7 月

■ 関連リリース

[リチウムイオン電池用電解質 LiFSI の国内供給体制を強化](#)

以上

日本触媒について：

1941 年の創業以来、自社開発の触媒技術を核としてグローバルに活動する化学メーカー。紙おむつに使われ、世界 1 位のシェアを誇る高吸水性樹脂（2024 年当社調べ）やリチウムイオン電池材料など、人と社会から必要とされる素材・ソリューションをお届けします。グループ企業理念「TechnoAmenity ～私たちはテクノロジーをもって人と社会に豊かさと快適さを提供します」のもと、長年培ってきた技術力を通じて皆様に豊かさ・快適さを提供しています。

詳しくはこちら：<https://www.shokubai.co.jp>

【問い合わせ先】

株式会社日本触媒 コーポレート・コミュニケーション部

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-2-2

E-mail: shokubai@shokubai.co.jp